

望岳山荘にて

にて

一九九八年冬季オリ
ンピック長野決定の興
奮もようやく冷めたこ
の頃だと思ふが、去る
六月十六日深夜の決定
の瞬間は、私も東京の
自宅でテレビを視てい
た。やはり一人の信州
人として傍観できなかつたからであらうが、

本の人ひとがどのよう
な反応を示したのか
は、是非知りたいところ
である。もしも「開
かれたローカリズム」
を唱えるのであれば、
長野決定で興奮しては
かりはいられないよう
にも思う。今回の出来
事は、松本の人ひとに
とって、一
つの「踏み
絵」であつ
たのかもし
れない。

あれは昨年三月下旬
であつたが、モルモン
教の大学として著名な
ブリガム・ヤング大学
で天安門事件をめぐる
中国セミナーが開かれ
たときのことであつた。
二日間にわたる国際会
議が終つたあと、その
夜は同大学国際問題研

ドの谷と一つ隔てた山
中にジープで案内され
ることとなつた。あた
りはまだ雪深く、セコ
イア(アメリカカ杉)の木
立ちが天を摩している。
ようやくたどりつ
た場所は、ハイラム教
授の山荘だつたのだ
が、実に素朴で瀟洒

る、まさに丸太小屋そ
のものであつた。
その夜は、セミナー
に参加した各国の学者
が十数名、これまた手
造りの炭と山から切り
出した薪をくべて、パ
ーベキューを堪能し、
深夜まで語り合つたの
だが、忘れ得ぬひとと
きであつた。当夜のゲ
ストを代表して謝辞を
述べ、戸外に出ると、
夜空の星が皓々として
いた。松本周辺や信州
一帯には、外観だけス
イス風といった安っぽ
い観光施設が増えてい
るけれど、ソルトレイ
クで私が感銘したよう
な山小屋が果たしてど
れ程あるのだろうか。
(中嶋 嶺雄・東京外
語大教授)

より以上に関心を引き
つけられたのは、ライ
バルのソルトレイク市
が松本市と姉妹都市で
あり、去る五月下旬に
は、友好の特別セレモ
ニーが行われたばかり
であるという事実があ
つたからである。この
点について、郷里の松

この点はおそらく甲
論乙駁で論議は尽きな
いであらうが、私自身
は、深夜三時半に長野
決定の報に接した瞬
間、なぜかソルトレイ
クの山中にあつた一つ
の山小屋のことがしき
りに心に浮かんだ。

研究所長のデイヴィド・
ハイラム教授のキャピ
ンでパーベキューがあ
ると言つ。初めのうち
は、また寒いのに郊外
のキャンピングカーで
パーベキューかと気乗
りしなかつたのだが、
ともかく私は、スキー
で有名なスノー・パー

造りで建てたのだとい
う。私は、松本郊外の
わが望岳山荘の手摺り
がしばしば腐蝕するの
で、ついに鉄パイプを
当てたりしているの
に、この山荘は原則と
してクキを使わず、そ
れでいてヴェランダの
欄干もしっかりしてい

も同様と一
緒に夏に手
あり、しか
なつくりで
あり、しか
なつくりで

ソルトレイクの山小屋

点について、郷里の松

この点はおそらく甲
論乙駁で論議は尽きな
いであらうが、私自身
は、深夜三時半に長野
決定の報に接した瞬
間、なぜかソルトレイ
クの山中にあつた一つ
の山小屋のことがしき
りに心に浮かんだ。

研究所長のデイヴィド・
ハイラム教授のキャピ
ンでパーベキューがあ
ると言つ。初めのうち
は、また寒いのに郊外
のキャンピングカーで
パーベキューかと気乗
りしなかつたのだが、
ともかく私は、スキー
で有名なスノー・パー

造りで建てたのだとい
う。私は、松本郊外の
わが望岳山荘の手摺り
がしばしば腐蝕するの
で、ついに鉄パイプを
当てたりしているの
に、この山荘は原則と
してクキを使わず、そ
れでいてヴェランダの
欄干もしっかりしてい

も同様と一
緒に夏に手
あり、しか
なつくりで
あり、しか
なつくりで